

1月

がらっぱの里

«発行»

平佐東地区コミュニティ協議会
0996-29-2056

令和8年1月22日

史跡巡りウォーキング開催

令和8年1月18日(日) 快晴の日に第8回平佐東史跡巡りウォーキングを楠元地区で開催しました。講師は郷土史研究家の茶圓三洋さん、馬立遺跡発見場所所有者の有水洋一郎さん、楠元石採石場跡に詳しい内城雄二さんにお願いして、案内・説明を受けました。お忙しいなか参加していただき有難うございました。



今年も各自治会で鬼火焚きがありました。
瀬越自治会で執り行われた鬼火焚きです。
本年の安寧と健康を祈願しました。



第34回 平佐東レキバナ(歴史話)講話 (茶圓三洋さん)

新春対談「戸田観音棒踊り」

1月号にふさわしい新企画です。「戸田観音棒踊り保存会」の元会長:小牧初美さんと戸田観音棒踊りの歌い手:小牧勝一郎さん、現在の戸田自治会長で、棒踊りにも深く関わってこられた山内俊則さんの対談を以下に紹介します。

1. 戸田観音棒踊りの由来について

これについては、小牧初美さんが持ち寄られた「戸田観音棒踊りについて」平成4年発行の文書から抜き書きします。その文書の最初に「戸田観音の由来」についてが書かれていますが、「レキバナ第1回講話」とほぼ似た内容ですから、ここでは省略します。

2. 「棒踊りの由来について」…「地域住民は、この観音を水難よけ或いは無病息災、安産又は馬頭観音としてあがめ、毎年6月18日(新暦で1か月遅れの7月18日)に豊作祈願を兼ねて例祭を行い、農村慰安として棒踊りが奉納された。…(中略)いつ頃始まったか定かではないが、従前は毎年行われた。…(中略、戦争により永く中断)

しかし、昭和52年に「戸田観音棒踊り保存会」を結成し、27年ぶりに復活し、57年まで奉納した。しかし、過疎化が進むこの地区にあって踊り子の減少などの問題でまたまた中止せざるを得なくなってしまった。…(中略)できることなら平佐東校区の伝統行事の一つとして残したいという事になり、東小の子供達(たち)に東校区の伝統行事として継承してもらいこれを復活する事は極めて有意義であり、将来の子孫に無形文化財として伝承してほしいという事になった次第である。

以下に、「3.伝承計画」があり、5月～7月18日の例祭での披露まで日曜日に実施。詳細は省きます。最後に、※子供達への伝承・指導は、原則として日曜日の夕方午後5時から約2時間程度とする。一平成4年4月24日の日付

最後の「保存会」会長で、解散式を行った小牧初美さんは、保存会の会計簿をはじめとする諸資料(新聞記事等)の持ち主で今回紹介した内容がみなさんに伝わったことと思います。「かつては、マイクロバスに乗って踊るため川内市内を巡回した」としみじみ話された。小牧勝一郎さんは昭和49年か50年に帰ってきてからのかかわりで、歌い手として「オオセエエロオオオ」の囁子言葉は伊勢参りからきているのではないかと話された。山内俊則さんは平成4年に初めて踊って、今も戸田自治会所有のハッピや六尺棒を保管する立場にあり「六尺棒は今持てば、重いし長い」と懐かしく話された。

主な対談の内容は次回となります。

あちらこちらで話題になりましたが、地区内の戸田・木屋園・正込の田圃に20数羽の鶴が飛来しました。



1月10日 消防出初式が開催され、平佐東分団も元気に参加しました。



1人 片道 300円

なるべく乗り合わせでの、ご利用をお願いします。

さようなら デマンドタクシー
令和8年3月31日終了



平佐東地区
コミュニティセンター
TEL 29-2056

2月 10日(火) 市県民税申告会場
15日(日) 生涯学習フェスティバル
21日(土) あさひ資源保全組合
22日(日) あつたか市

★ 2月慰靈碑掃除当番 …楠元上自治会